



総会の開かれた永国寺キャンパス管理棟2階から望む正面玄関南に聳えるケヤキ

本年総会で会則改正が承認され、来年度からは代議員制での総会開催へ

代議員制の総会へ

しらさぎ会の会則改正については3年前の第一回支部長会で代議員制が提案されて以来、折あるごとにずっと話し合いを重ねて本年に至っている。

いちばん大きな改正

いちばん大きな改正は（支部の設置）についての第16条の「各支部より、最低1名の代議員を選出、会員数が多数の場合は概ね30人に1名の割合で選出することが出来る」というもの。

昨年の総会で宅見美佐子会長が、「会則の変更を会員の皆さんに知っていただき、来年の総会で決して、再来年から実施するとい

うのが、より親切ではないかと考えます」と強調したことを印象深く記憶している皆さんも多いのではないだろうか。で、今年の総会。風が薫るような快晴の5月15日、午前の支部長会への出席者には引き続きで4時間超の長丁場になったが、**代議員制への承認**など滞りなく全ての議事が進んだ。

平成22年度 総会報告

14時30分～
16時15分
永国寺キャンパスで

式次第

1. 開会の言葉
2. 名誉会長挨拶
3. 会長代理挨拶
4. 紫苑会奨学金贈呈式
5. 議長選出
6. 議事
 - (1) 報告事項
 - 平成21年度活動報告
 - 平成21年度会計報告
 - 平成21年度会計監査報告
 - (2) 審議事項
 - 平成22年度活動計画案
 - 平成22年度予算案
7. 閉会の言葉



会長代理の挨拶に立つ林昭子副会長



第44号

主な内容	ページ
来年度からは代議員制の総会へ	1面
平成22年度総会報告	1～2面
平成22年度活動予定	2～3面
しらさぎ会・各支部だより	3～6面
さよなら調理実習室開催報告	6面
池キャンパスのお披露目	7面

支部長会ドキュメント	8頁
紫苑会よりの奨学金の寄付	9面
学長先生への宅見会長からの質問	9面
しらさぎ会誌復習と反省	10面
リーダー通信	11面
恩師はいま	11面
水谷洋一前学部長	12面

●しらさぎ会総会は5月の第3土曜。従って今回は2011年5月21日

痛恨の極み、極めて哀しいお知らせです。



記念誌出版記念会で主催者代表の挨拶に立つ宅見美佐子会長。「ご出席ご協力に感謝申し上げます、発刊を機に活動の輪がさらに広がりますよう…」

しらさぎ会第二十一代会長の宅見美佐子さんが、二期目を迎えていたこの春、4月16日に逝去されました。60年に亘りずっと続けられてきたしらさぎ会総会の実施形態を、支部長会での提案を機に代議員制へと移行させる端緒を開いたのは、この宅見美佐子会長でした。

学生時代は廃学反対と学生寮の改築運動に情熱を注ぎ、現職時代の昭和58年、高知市女性施策の始動に当たっては「初代の婦人担当」に任命されました。市役所で女性職員ネットワーク作りを目指した研修グループ「十日会」を発足させたり、勤労者福祉の現場で困難な財団法人化を実現させたのも宅見さんでした。「初」や「草分け」の冠のよく似合う行動力と実行力に溢れた宅見美佐子さんのご冥福を心からお祈り申し上げ、折々のご配慮に深く感謝致します。



しらさぎ会記念誌 絆と証 2千円税込み
巻頭には、二〇〇九年八月十五日付で、宅見美佐子会長のご挨拶が掲載されている。

東海支部

腰痛体操や生涯学習でほのぼの盛り上がる



東海支部は、愛知県を中心に岐阜県、三重県、静岡県、長野県、新潟県の6県230余名の会員で構成されています。

毎年11月の第2土曜日、名古屋駅前のロイヤルパークイン名古屋の2階「京たちばな」で支部総会を開催することを申し合わせ事項として引き継いでいます。

今年は11月13日(土)昼の12時30分より、第16回支部総会を開きます。新旧同窓生の交流の核になり活動するのも支部の大切な運営ですが、当支部は参加者が少人数でアットホームな雰囲気です。

お互いの近況報告(家庭、趣味、健康、介護)で盛り上がりまします。とくに足や腰痛体操、生涯学習の話は得意分野とする人が増えてきました。若い世代の方々に参加していただいで会が活性化すれば子育てのアドバイス等支援も可能と思います。来年から男女共学になる母校。支部長会に出席した高田美智子さんより大学改革の現況報告もお話いただく予定です。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。(今年度幹事 白石 操)

京阪神支部

支部総会開催の年! 11月6日(土) 12:30~

卒業して40年間、大学とはほとんど無縁に過ごしてきた私が、ほんの一本の電話の縁で、いきなり京阪神支部の支部長をお引き受けすることになりました! 退職し、第二の人生を迎え、心身ともにゆとりの出てきたとき、これまで忙しさのなかに埋没させてきた青春時代の色々な出来事が、一本の電話によって甦ったのかも知れません(笑)。

同窓会とは、日頃は思い出さなくても、どこかにある大学で過ごした日々の懐かしさを、改めて味わわせてくれるものです。たとえ、親しい友が参加されなくても、学部、学科は違っても、同じ土壌で4年間学んだ者同士、心の底につながるものがあるはず。久しぶりに、たまには語り合ひましょう。ぜひ、しらさぎ会京阪神支部の総会にお越しください~い!(支部長 寺内伸子)

関東支部

土佐弁も飛び交う知的啓発サロン!

しらさぎ会関東支部では、昨年総会のご案内状発送の折、例えば総会と合わせて講演会などを開催するとすれば、皆様はどのようなことに関心をお持ちなのか、アンケートをお願いしました。

三大テーマは、古い支度、家族の介護、生活習慣予防。他にも、子育てや社会参加、女性のあり方、文学について、また、今きらっと光っているヒトの話、先輩に第二の人生について、関東での暮らしぶりについて承るなど、様々な関心事が寄せられました。

役員会での話し合いはこれからのことですが、私個人の感想では、高知女子大学の卒業生という繋がり、仕事や趣味の関心を共有できるのも、有意義なことではないでしょうか。高知女子大学出身の皆様、仕事に趣味にと大変パワフルでいらっしやいます。取り澄ました集まりではなく、土佐弁も飛び交うサロンのような、知的啓発の場になるといいなと思います♪(副支部長 山崎和子)

しらさぎ会 各支部だより

就職活動支援

大学側から、就職超氷河期で経済事情も厳しいなか、就職活動に経済的負担が非常に大きくなっている学生たちへの支援要請があり、「しらさぎバスツアー」を役員会で決定した(しらさぎ会ホームページにも掲載)。当日の説明会への参加学生は、昨年より3割増の2千3百人だった。

合同会社説明会 **しらさぎ会バスツアー**

主催/株ケンジン 共催/高知女子大学
後援/高知女子大学同窓会しらさぎ会

2010年1月16日(土)10時~17時30分
マイナビ就職 EXPO 四国会場
サンメッセ香川

参加費/2,000円(交通費)
定員/40名
対象/3回生
当日/7:15集合



たことからも、学生の必死の就職活動ぶりが伺える。今年は株価の低迷などもあり、昨年以上に厳しい就職戦線になるといわれている。年々、内定・採用は厳しくなっており、就職に直接つながる支援、学生の求めている支援を検討していこうという方針である。

基本金の違い方の検討

会計報告や予算案の「特別会計」の項目に「基本金」という名目がある。「基本金の違い方」について、検討するための委員会を作ることも含めて、今後じっくり議論を重ねたい、という提案が役員会からなされた。基本金は、「いつなんどき大きなお金が必要になるかも知れな

いということ、同窓会発足時から『おおごとの時に遣うお金』として貯め始めたもので、60年を経た今日、1千4百万円という額に達している。来春の男女共学開始を控え、同窓会の構成員にも当然変化が予想され、諸般新たな態勢へ向けての準備が求められる。

山根名誉会長挨拶

多忙を極められている山根洋右名誉会長からは、「今年一年この方針で突き進んでいきたい」と、高知女子大学運営会議用で作成された『平成22年度大学運営に関する学長提案』の冊子が会場に配られた。

さらに、「県やマスメディアで希望が強いので」男女共学になること、「そんなにたくさんさんの男子学生が増えるとは思えないが、ハードシステムその他全てを決めるべきで、24年までには法人化を」と意思決定していること、短大と本学を一法人とすること、26年には高知工科大学の新しい学部が入るだろう」など、要点をかいつままでの説明がなされた。

※新しい大学像は高知女子大学のホームページでご確認ください。

紫苑会奨学金贈呈式

例年通りの式次第に本年新しく加わったのは「紫苑会奨学金贈呈式」である。

我々の大先輩に当たる女子医専の同窓会「紫苑会」が、全員に案内状を送る会にはいったん区切りを付けることになり、運営資金のうちの50万円を奨学金として「しらさぎ会」が寄付を戴けることになった(9面もあわせて参照ください)。

21年度活動・報告

続いて、議長を務めた藤本寿美子さん(生活科学科11回生)の「活動報告で何かあれば言っておきたい。審議事項についてはこのように。」



藤本寿美子さん「こでしっかりと審議していきましょー」と、カラッと明るい第一声で議事が開始され、行事の多かつた21年度を企画、会報、支部強化、奨学金の各担当理事が振り返った(誌面で追って報告します)。

60周年しらさぎ会記念誌出版記念会

2009年8月23日に、ホテル日航旭ロイヤルで多方面からご協力いただき、おかげで出版できました。

真夏の真っ昼間で体調不良のため欠席という同窓生も多くなか、それでも121名の参加を得、マンドリンクラブや合唱団「凜」にも賛助出演いただき、「絆と人生の証が確かめ合える」と、出版を喜びあいました。(引き続き記念誌は販売中!)



◀学歌を披露中の女子声合唱団「凜」(12面参照)と、演奏は高知女子大マンドリンクラブの皆さん



◀県外から遙々帰郷された皆さんを、記念誌編集委員も務めた松崎淳子高知女子大名誉教授がご紹介中。「はい、いちばん遠い人は誰ぞね?」



▲受付は役員を中心に賑やかに。中央には元気な宅見美佐子会長

しらさぎ賞と看護学部同窓会

川口順子副会長から会場へ二つの大きな報告があった。一点目は、「しらさぎ賞」を創設授与することで、在校生への「しらさぎ会」の存在アピールになるのではないかとのご提案を、昨年の支部長会でいただき、検討を重ねてきたが、対象規定や役員態勢をどうするかなど課題が多く、継続審議となっていること。

22年度活動・予定 池キャンパスツアー

平成22年度の活動予定についての提案では、まず企画担当理事から、新しくなった池キャンパスを見学するツアーを計画したい旨が提案された。(その後の理事会で、詳細が決まったので、チラシを同封します。皆さん、ぜひご参加ください)。

嬉しい山口支部の誕生、島根や鳥取の支部は?

支部強化担当理事からは、かねてより準備が進められていた山口支部が、昨年11月にとうとう産声を上げました!と、嬉しい報告がなされた(山口支部の活動については4面に樋田公子支部長の報告記事を掲載しています)。なお、支部長会の報告(8面)と重なるが、島根支部も立ち上げの方向へ動けないかと提案があったことを併せてお伝えしておきたい。

しらさぎ会 各支部だより

広島県支部

二つの世界遺産に三大プロ知って？

自慢したいもんはえっとあるんじゃないけど、その中でもやっぱり一番は、「世界遺産」じゃね。広島には世界遺産が二つもあるんよ！世界平和の象徴「原爆ドーム」と、歴史と自然が融合した「宮島」。どっちも有名じゃけ、知っとると思うけどね。

「広島自慢」いうたら、これも忘れてらいけんね。「三大プロ」、知って？「広島カープ」、「サンフレッチェ広島」、「広島交響楽団（広響）」。

43回目を迎えたしらさぎ会愛媛の集い 愛媛県支部

私にとって同窓会は元気の源

今年の集いは6月27日午後2時から。豆腐料理の美味しい店として人気の「梅の花」でした。幹事は得居未来さん（文化17年卒）と平野美由貴さん（健康栄養21年卒）の若い二人でスムーズに進行していただきました。



高知女子大学からは文化学科教授の佐藤恵里先生をお迎えして、総勢19名で懐かしい、楽しい時間を過ごしました。

さわやかな佐藤先生から高知女子大学が高知県立大学と名前が変わることなどを詳しく聞かせていただきながら、全員母校への想いを強くしました。女子大にあこがれて入学したことや、開放的な高知の風土にふれたこと、高知女子大学で学んだからこそ今の自分があるのだと私もしみじみと学生時代を思い起こしていました。

生湯葉などめずらしい料理をいただきながら、自己紹介や近況報告が行なわれました。1年に1回しか逢えない人がほとんどなのに何故か懐かしく、楽しく話ができるのが不思議です。時代は違っても高知女子大で4年間を過ごしたという共通点はなによりも堅い絆で結ばれているような気がします。幹事の得居さんや、佐川町から出席してくれた中田めぐみさんなどは恩師佐藤先生との再会をとても喜んで嬉しそうでした。来年の幹事は今治市在住の土岐佳子さん（生活科学平成元年卒）と近松昭子さん（生活理学平成元年卒）に決まりました。「また来年逢いましょうね！」と次回に思いをはせながら別れを惜しみました。学生時代にタイムスリップした短いひと時はあっという間に過ぎてしまいました。そして、また明日からそれぞれの毎日が始まります。そんな日々のなかで高知女子大生だったという紛れもない過去の事実が誇りとなり支えとなってくれることを確信したひと時でもありました。（支部長 門田洋子）

香川支部

支部は同窓生をつなぐ唯一の会



しらさぎ会香川支部総会が平成21年11月15日（日）10時30分から高松国際ホテルで開催されました。出席した会員は32名で、大学から堀内和美先生のご臨席を賜り、盛大に行われました。総会は、進行役、議長等を役員の中から選出して進めました。内容は会務報告、会計報告、近況報告等、ユーモアを交えて和やかな雰囲気の中、無事終了しました。総会終了後、親睦会は季節感あふれる料理をいただきながら、会員同士が青春時代を思い出して会話を楽しみました。

しらさぎ会香川支部は同窓生をつなぐ唯一の会です。きょうは、時代が変わっても高知で過ごした4年間を思い出して、おしゃべりできる楽しい一日となりました。次回の総会にも参加しようと声をかけ合って解散しました。

今回は平成23年に高松市での開催を予定しています。開催日の2ヵ月ほど前に詳しくご案内する予定です。皆様の参加をお待ちしています。これからの活動や運営などについてご意見やご要望がありましたら、嶋村洋子までご連絡ください。（副支部長 嶋村洋子 087-848-0618）

徳島県支部

LEDと日本の原風景に癒されて！

NHKでは「ドラマチック！四国」を進め、四国ゆかりのドラマが多く生まれています。微妙な阿波弁で盛り上がった連続テレビ小説「ウェルかめ」の舞台は徳島でした。

青色発光ダイオードが徳島発祥なのは皆さんご存じですよね。本年4月中旬には、徳島市内を中心に「徳島LEDアートフェスティバル」が開催されて、大変幻想的な空間を楽しむことができました。おそらく来年も4月に開催されると思います。他には光の八十八ヶ所めぐりもあって、LED観光に、とても力を入れています。

また、庶民遺産のにし阿波観光圏「歴史や伝説に彩られた日本の原風景の中で過ごす心豊かな時間の創造」をテーマに様々な催し物があります。奥祖谷のかかしは必見で、田舎で癒されて下さい。

今年同窓会開催の年です。2010年11月6日（土）12時～、徳島大学病院西病棟11階レストランウエルカ（JR蔵本駅下車）であります。徳島県出身でない方もぜひお越し下さい。（支部長 川西千恵美

e-mail:ckawa@medsci.tokushima-u.ac.jp）

山口支部

本州の西端、小さな支部誕生



母校から遠く離れた地域に暮らし、会員数も少なく、会員同士の交流もなかったため、広島県支部に吸収かとも思っていました。生活科学科41年卒業の藤屋みどりさんのご尽力で、平成21年11月8日に本部より彼末富貴理事をお迎えして、セントコア山口で12名の参加のもと、山口支部が無事誕生しました。

当初20名を目標にしていたので12名はちょっと淋しいと思いましたが、フレッシュな二十代の参加もあり、また県内に52名もの会員がいるのだという驚きも加わり、一気に青春に戻り、話も弾み、用意していた入湯券を使うことなく、次回の例会（平成23年11月）を約束して閉会となりました。

来年度から、しらさぎ会総会は代議員制となり、弱小支部（平成22年度は会員58名）ながら、一名参加できることとなりました。母校と直接関わる唯一の手段と喜んでいきます。卒業以来の人もいます。山口支部の会員の皆様には、現在の母校を一人でも多く確かめて欲しいものです。

今年の高知県は龍馬一色で賑わっているようですが、山口県も龍馬とは深い関わりがあり、下関でも龍馬展が開催されました。近代日本の夜明けに関わった山口県と高知県。伊藤博文以降多くの総理大臣を輩出した山口県。そうそう、菅総理も生まれは山口県です。「おいでませ山口」（支部長 樋田公子）

【表1】平成21年度 総会開催支部一覧	
1)	高知県支部：平成21年6月27日（土）オリентホテル高知 出席者 55名
2)	愛媛支部：平成21年6月28日（日）国際ホテル松山 26名（彼末富貴理事）
3)	九州支部：平成21年11月7日（土）ホテルニューオオタニ佐賀 12名
4)	山口支部：平成21年11月8日（日）セントコア山口 12名（彼末富貴理事）
5)	東海支部：平成21年11月14日（土）ロイヤルパークイン名古屋 10名
6)	関東支部：平成21年11月15日（日）グランドプリンスホテル新高輪 36名（林昭子副会長、山崎智子先生）
7)	香川支部：平成21年11月15日（日）高松国際ホテル 32名（堀内和美理事）

高知県支部

組織強化のネットワークを活動の柱に

今年はNHKの大河ドラマ「龍馬伝」の影響で全国的に高知県の知名度が上がっているようです。

さて、恒例の支部総会を6月26日（土）13時から、高知市市形のオリентホテルで開催しました。あいにく当日は大雨洪水警報が出た恨めしいお天気でしたが、そんな悪天候の中、42名ものご参加をいただき、感謝感謝の気持ちでいっぱいでした。

ご来賓としてお迎えした山根洋右学長からは高知女子大学の現状と将来像についてのお話をいただき、しらさぎ会の林昭子会長代理からは、来年度から本部の総会に全国の各支部から代議員が出席し、各支部会員からのご意見をしらさぎ会の活動に反映させる仕組みが整ったなど、ご報告いただきました。

支部総会終了後、会員相互の交流会、珈琲タイムでは松崎淳子先生が最近テレビで人気沸騰した土佐の伝統料理「鯛ぜんざい」をお持ちくださり、皆でおいしくいただきました。

その後、高知女子大学生生活科学部環境理学科の大村誠教授が「つぎの南海地震までしておくこと」と題してご講演くださいました。南海地震の貴重な映像、データ、当時の高知県の作った記録映画等も見せていただき、たいへん有意義なときを過ごすことができました。大村教授のユーモアを交えたお話で、必ず来る地震の恐ろしさに改めて思いが至り、備えるべき事柄を確認しつつも、本日まで出席の皆が生き残るうちには来ないで欲しいという勝手な希望を持ちました。

高知県支部は支部組織強化のためのネットワーク作りを活動の柱としており、東部、中央、西部の各地区で活動できるようにしています。その一つとして東部地区をご紹介します。世話人の西岡美智子さんの企画で8月に安芸市で会が開かれ、元中学校教諭で国文学科5回生の恒石節子さんが「戦地から土佐への手紙の出版に携わって」と題して講演しました。支部役員も参加し、東部会員との交流を深めました。

残りの任期を支部役員の皆様に支えられ、支部会員の皆様にご協力をいただきながら、頑張らねばと思っていますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。（支部長 坂野志津）

【表2】平成22年度 支部会員数（H22年4月現在）	
関東支部	（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨）506人
●東海支部	（愛知、岐阜、長野、三重、静岡、新潟）238人
●京阪神支部	（大阪、京都、奈良、和歌山、兵庫、滋賀）784人
●岡山支部	268人
●広島支部	168人
●山口支部	※昨年立ち上がりました！58人
●香川支部	455人
●愛媛支部	554人
●徳島支部	563人
●高知県支部	3,086人
●九州支部	（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）524人
【計】	7,204人



挨拶に立つ 坂野支部長



お見事！ 鯛ぜんざい



2010年夏の高知女子大学本部(池キャンパス)全容。撮影は、お隣りの高知医療センター11階あじさいホールの外から



2010年夏の高知女子大学永国寺キャンパス全容。撮影は、東のSEVEN SEAS永国寺の(有)セブンスーズ・コーポレーション荒川ご夫妻にお世話になりました



池キャンパス食堂バランス抜群昼食。例えばこれで一般価格は507円

池キャンパス ☎ (088) 847-8700
〒781-8515 高知市池 2751-1
永国寺キャンパス ☎ (088) 873-2156
〒780-8515 高知市永国寺町 5-15

丸屋根の食堂をのぞいてみました！



高知女子大学本部池キャンパス正面玄関に設置されている看板



池キャンパスの駐車場には初心者マークのついたオシャレな軽自動車がいっぱい！ バス通学者もどっさりで～す！！



① 高知女子大学の本部が池キャンパスに移りました。一方、永国寺キャンパスには文化学部と、募集停止した生活科学部(生活デザイン学科と環境理学科)が、これまで通りしっかり在ります。
② 池キャンパスには、看護学部、社会福祉学部、新しく出来た健康栄養学部があります。
③ 平成23年4月から高知女子大学は男女共学になり、名称も「高知県立大学」と変わります。

池キャンパスのお披露目 大学の本部が「池」に移りました。

さよなら 調理実習室

2009年 10月31日 実施

みんなで作る土佐の食卓

調理実習室には入りきらず、残念ですがお断りが必要なほど多くの同窓生に出席希望をいただいたこの催しには、遠く千葉県や埼玉県など県外からも10人の同窓生がお里帰りをされ、昭和27年から平成21年3月の卒業生まで年齢層もたいへん幅広く、総勢59人が参加した。

運営に当たっては、会員の多くが高知女子大の卒業生でもある土佐伝統食研究会の熱いバックアップをいただき、しらさぎ会の初代と第二十代の会長でもある松崎淳子名誉教授が講師を務められた。



盛況ぶりが伝わるでしょう！



下準備から大忙し！



こけら寿司。型に寿司メシを入れてからでも2時間から一晩は置く。どうです！これだけ手間がかかる芸術作品！



うわっこれ大事！とメモ！



写真は計73枚掲載 冊子

身近なようで案外調理に手間のかかる土佐の伝統食、例えばサバ寿司や蒸し寿司、こけら寿司、ショウガの天ぷらや蒸し羊羹など、当日のメニューやレシピ、詳しい実況版は、立派な冊子が出来ている(すぐ右上の写真)。

平成22年春から生活科学部の生活デザイン学科と環境理学科は募集停止となり、健康栄養学科は健康栄養学部となって池キャンパスに移転した。愛着いっぱいだった永国寺キャンパスの調理実習室もそれに伴い役目を終えることになったわけだが、調理道具や食器は新しい池キャンパスでも引き続いて使われているようだ。

なお、催し当日に60周年記念誌が5冊も売れたとか！ラッキー！

九州支部



七面草と「むつごろう」

海介の紅葉シチメンソウ

海の紅葉シチメンソウやムツゴロウ、また昭和天皇最後の行幸地としても有名な東与賀海岸



シチメンソウ

九州支部は平成21年11月7日(土)に佐賀市で支部会を開催、11名の参加でした。

佐賀県内のかたにはお電話等でお世話を呼びかけたのですが、結局、黒河満智子さん(生活科学科)がほとんど一人で通知から会場の予約、七面草(シチメンソウ)の見学の手配までやってくさることになって、感謝しています。お世話役も色々楽しかったのですが、たいへん和やかで、社会性に富み、しかも生活感にも溢れた内容の話が飛び交う集まりとなり、おかげさまで有意義な時間を持つことができました。

支部会を開催した頃はちょうど七面草が見頃で、皆で海までドライブ。海水でも育つ真っ赤な植物が海岸線に一直線に続くようすは、圧巻！

干潟では「むつごろう」がピョコンピョコンと跳びはね、私たちを楽しませてくれました。

しばらく経った頃、福岡の田中さん(看護学科)から立派な写真が届き、また満足。いつもありがとうございます。次回は平成23年に福岡でお会いしましょう！(九州支部長 宮川麗子)

高知女子大学公開講座 2010年3月6日(土)13時～ 茶の魅力～外から見た土佐茶～



会計担当理事の岡田溪子さんの骨折りで、土佐茶の魅力を地元の我々に改めて気づかせる公開講座が実現した。大きく変わろうとする高知女子大学の203教室はファイナルに相応しい熱気に溢れた。もっと美味しく地元の煎茶を飲みたいと思っている人が意外と多いのが、全国茶審査技術大会で最高位の十段を初めて取った静岡市の茶師前田文男さん人気が高いのか。土佐ならではの地形で育つ味のきつい茶葉の魅力、前田さんは淡々と噛んで含めるように説明された。



220人超の県民で埋まった永国寺キャンパス203教室

三回目で最後の支部長会ドキュメント

出席者	徳島 山崎和子 (国文14回)
副支部長	高知 古谷孝子 (英文8回)
幹事	高知 高田美智子 (英文6回)
支部長	徳島 寺内伸子 (国文9回)
支部長	山口 田中めぐみ (国文9回)
支部長	山口 樋田公子 (生活13回)
支部長	九州 宮川麗子 (看護14回)
副支部長	九州 嶋村洋子 (家政1回)
副支部長	徳島 林昭子 (副会長)
副支部長	徳島 川口順子 (副会長)
副支部長	徳島 坂本美和 (広報)
副支部長	徳島 堀内和美 (支部強化)
副支部長	徳島 西谷抄希子 (支部強化)
副支部長	徳島 山重慶 (企画)
副支部長	徳島 橋村夏世 (事務局)
副支部長	徳島 山川真弓 (事務局)
副支部長	徳島 岸田佐智 (看護25回)
副支部長	徳島 坂野志津 (英文5回)
副支部長	徳島 別後茂子 (英文9回)



話は会則の改正から
 本部：3年前に初めて支部長会を開催した際に、代議員制の提案をいただいた。役員会で検討し、1年前の総会で承認を得た。今回の支部長会で意見をいただき、総会で承認を得たい。
 九州：支部の総会の時に、次の総会に代議員として参加してもらおうようお願いして決めておくのが良いのだろうか。もし誰もいなければ支部長が行くことになるだろうか。
 本部：支部長が代議員というわけではない。各支部の総会で決めるのか、役員の話し合いか、代議員の選出方法は支部で決めてほしい。東海支部：今まで支部長が出てきており代議員を別に選出するのは難しい。1名でも良いのか。
 本部：1名で良い。支部の事情にまかせる。
 山口：支部長会と総会はい

つもセットであるのか。
 本部：会則改正し、代議員制になれば支部長会はなくなる。
 徳島：代議員は代理が出席してもかまわないのか。
 本部：代理でも良い。ただ必ずどなたかは出席していただきたい。欠席の場合は委任状になるか。全国から来ていただきたいという趣旨で代議員制を進めよう。各支部の事情により支部長が代議員になることもあるだろうし、支部に任せたい。
 徳島：つまり、代議員の任期や選出方法や役割は各支部に任せ、本部の方では代議員制をとり、代議員が本部の総会に出席する、という役割だけが決まっている。代議員が何をやるのかということも支部に任せられるということか。
 本部：本部としては役員と代議員で総会を設置したいということ。代議員は各支部から出席をお願いしたい、というだけ。
 九州：実家が四国に近い人がおり、里帰りをかねて楽しみにしている方もいるかもしれない。
 徳島：里帰りをかねて行っただけのことはある。だが、役員を選出もままならなく、

出席率も年々下がっていく中で、うれしいような大変なような。
 徳島：代議員を決めて、都合が悪くなった場合は他の人が来て良いのか。
 本部：はい。
 九州：間際でお願いするより、前もって支部総会で決めておくのが安心感がある。
 本部：代議員をこの人にあるというのではなく、支部として誰かを出してもらおうということ、議決権のある代議員として出て頂く。香川：代議員の本部への報告はどのようにすればよいのか。今回の支部長会も誰が来るというのを本部に報告しているが、もっと合理的なやり方があればよい。
 本部：まだそこまでは決まっていない。それもあわせてご意見があればお聞きしたい。今までの支部長会のようにその都度連絡していただくようになるかと。
 九州：飛行機のチケットは2カ月以上前だと安くなる。支部長に2カ月以上前に連絡がくると、代議員の方にもすみやかに伝えてほしい。もししくは早目に次の代議員を決めて本部に知らせたい。き、直接連絡してもらえると早い。
 本部：高知支部はどうか。
 高知：代議員制についてはまだ特に話し合っていない。今年の総会で決まることなので、それからと思っている。香川：支部長会では旅費を

いただいたが、代議員制になつたときも同様か。
 本部：同様にお支払いする。
 高知：代議員制の目的は総会参加人数を増やすことか。
 本部：支部長会で各支部からの報告の際に、代議員制の提案をいただいたので検討してきた。現会則では総会について細かく触れていなかったたので、改正案では明文化している。
 徳島：会報に総会の報告があるが、個人的には知ってほしいが、参加した代議員に支部の会話を話してもらえると、より身近に感じられると思う。
 高知：会報に今回の支部の総会のお知らせがあるが、さらに途中のページにも書いて欲しい。
 本部：役員会で検討する。このところずっと5月の第3土曜日で、会報にもそれは書いてある。代議員制に移行することにはあまり反対はなかったということ。よろしいか。代議員の選出は各支部にまかされていること、決まにくい所もあり、こちらはまだ確定した所だが、このような方向で進んでいきたい。
 徳島：鳥根、鳥取はかなり人数が多くなっているが、支部はできないのか。
 本部：本部からぜひ支部を作るように働きかけたい。(以下、活動報告、22年度支部予定事業などの報告があった。)

紫苑会よりの奨学金のための寄付

大先輩の「いったんケリ」に学びたい

昭和63年10月に紫苑会同窓会誌「紫苑」が発行された

紫苑会は佐川町の字名から
 大先輩に敬意を表してまずは「紫苑(しん)会」命名のいわれから。
 高知女子大学の前身に当たる「女専(高知県立女子専門学校)」は、終戦直前の8月8日に「銃後緊急時の救護要員」を養成するために開校された女子医学専門学校(医専)が、廃校となったあとを受けて昭和22年4月1日に開校した。医専廃校の理由は、敗戦と南海大地震による財源不足で医専を

県は運営できなくなつたためである。つまり、高知女子大学の前身の前身は「女子医専」であり、その同窓会が「紫苑会」なのである。で、なぜ「紫苑」か。
 少女時代がかつた話にはなるが、昭和20年7月4日。高知市を襲った高知大空襲によって医専の校舎が焼失したためにやむなく難を逃れて移った高岡郡佐川町の青年学校の
 寄付の目録
 有難い!

この紫苑会の会長が、しらさぎ会の初代と二十代の会長を務めた松崎淳子高知女子大学名誉教授である。



いったんケリを付ける
 紫苑会は今までも63年もの間ずっと存在し、女専創立20周年で集まって以来はこの45年間、2年あまるいは3年ごとに集まっていたのに、とうとう「全員に案内

高知女子大学開学 60周年
 しらさぎ会記念誌
 200人の寄稿や
 Columnも掲載しています

Column 作教室は同窓会館?

●『高知女子大学五十年史』の略年表によると、作教室落成は昭和47年3月31日である。が、話はそれよりずっと前、昭和20年6月7日の高知市大空襲までさかのぼる。女子大の作教室に関連して『高知女子大学三十年史』に文学部新設の件が詳しく説明されている。このとき校舎は全焼し、のち戦災で焼失した校舎の再建のための予算が国の予算に組まれたとき、大学側の予算要求に対して、「援助は無用」とか、「援助を遠慮する」という県が出た関係で、結局は一県分に相当する復旧費が回ってくるようになった。それが「作教室」という、「見ようによっては女学校の同窓会館にも見えるような建物になった」と。なるほどねえ...

編集後記

平成22年2月23日の学長諮問会議
 宅見会長が用意した学長先生へのご質問

- 誌面の都合で、最終面の続きとして、読んで下さい。
- ①「女子大の改革、永国寺キャンパスの今後について検討」というときに、工科大案が進められるということに疑問を感じたのですが……。*女子大の永国寺キャンパスを大学として有効に使うことは県民に対する責務。どのような構想をお持ちですか? 工科大にあげるのでしょうか?
 - ②生活デザイン学科・環境理学科の廃止については、廃止の方向で結論が出され、とても残念に思っています。「何とか生き残りの方向を探っている」ということなのでしょうか?
 - ③現在の学生さんは、自分たちの学科がなくなることを知らずに入学しています。続いて後輩が入学してこないことに戸惑いという寂しさを感じているのではないのでしょうか。現役の学生さんたちにどのように対応されていますか?
 - ④生活デザイン学科・環境理学科の教職員の将来については、どのような対応をされていますか? 大学の教員といえども専門があり、そう簡単に片付く問題ではないと考えます。
 *通常は廃止を大学として決める際には、教員をどのように再配属させるか決めて、継続的に教員資源を有効に、かつ教員が見通しを持って準備ができ、教員が意欲を持って働ける環境をつくることは大学として当然すべきことであるが、してきたのでしょうか。個人や学部によっておこなうのは大学に責任を持つていないことになる、と考えます。学長はどのような構想を持っておられますか? (高知女子大学同窓会しらさぎ会 会長 宅見美佐子)

開学60周年しらさぎ会誌記念誌「絆と証」と証

まとめて復習と反省

お詫び

しらさぎ会にとっては初の大型プロジェクト「記念誌出版」は概ね順調に推移完了できたと思いを撫でおろしてはおりますが、出版後、「ナマの声」も戴きました。皆さんと共有すべく、それらの声を全部載せて「復習と反省」に代えさせていただきます。

最大の「反省」は、ことも有るうか、第四章「原稿用紙一枚の青春」にインターネットのメール添付でご寄稿くださったお二人の原稿が掲載漏れとなったことです。パーチャルの世界の恐ろしさを肝に銘じて、総依頼数と総掲載数の確認が抜かったことを深く反省し、ここにお二人の原稿を掲載して心からお詫び申し上げます。〔編集委員会〕

ナマの声

ご当人からばかりではなく、「間違うちゅうよ！」とご友人や関係者から声をいただき、肝を冷やしたものもありました。掲載順で訂正し、こちらでも深く反省、心からお詫び致します。

①目次の第三章と本文54頁、橋詰加代子↓橋詰佳代子(敬称略)
②第三章本文53頁、加藤先生の英文学購読↓講読

第四章 「原稿用紙一枚の青春」から

生活デザイン学科4回生 平成17年3月卒 濱野 愛美

今日に影響を及ぼしていると感じる学生時代



①高知の空は青くてひたすら高く、夏の日差しは肌を焦がす勢い(初見)
②高知の女性はリーダーシップをとるのが上手(実感)
③高知には「出会い」がたくさんあった(事実)
ここに挙げたものは、私が高知女子大にいた時に感じたことだ。学生時代の四年はあつという間だった。大変で辛いことも多かったはずなのに、思い出されるのは充実感ばかり。勉強だけでなく、様々な活動を通して人と関わってきたことが、自分の考え方に最も影響を及ぼしていると思う。学生生活はたった四年で終わってしまったけれど、あのとき得たことをここで終わりにせず、大切に成長させ続けていきたい。新しいことを知り、多くのものに「出会う」意欲をなくさないように。私の、今の目標である。

一枚の青春」から

生活デザイン学科7回生 平成20年3月卒 笹岡 佳未



一生ものの財産
社会人3年目。とは言っても、アルバイト歴から数えると9年目になる私の大好きな、大切な職場。一番好きな仕事に就き充実しているが、毎日同じように感じることもある。そんなとき、毎日慌ただしくも新しいことばかりだった大学時代を懐かしく思い返す。
ひたすら考え、動き、必死に過ごした日々。授業・イベント・ゼミ・サークル、やるからには思いっきりやりぬこう。何事にも真剣に取り組むことが楽しさにつながるので、肌で感じた。同じ温度の気持ち共有できる友達がいたことは、私の一生ものの財産だ。
今の目標は、店長になることだ。そのためには、たとえ同じ環境にいても常に新しい何かに目を向ける必要がある。現状に満足はしても甘んじてはいけない。日々の内容を濃くできるかどうかはきつと、いつでも自分次第なのだろう。大学生活で培った向上心・好奇心を忘れず、前を向いていられる人でありたい。

③齋藤信也高知女子大教授他と共に著で医学書院から『ケースで学ぶ医療福祉の倫理』(2千2百円)を出版することになりました。↓齋藤信也高知女子大前教授、出版しました。

④想い出写真帖109頁の写真(下の場所、現在の中庭テニスコー



ト付近↓記憶が定かではなく、場所不明とすべきでした(と、クリスチャンの横田万里さんよりお葉書を頂戴しました)。が、松崎淳子先生より「記憶は確か。正しい」とお墨付き戴いています。
⑤第七章いまここに在る証226頁渾身の第二歌集の著者野島泰子

↓読めないで「ひろこ」(敬称略)とルビが欲しかった。
⑥第八章しらさぎ春秋264頁、亀田慶子(国文1)↓亀村慶子さん※いまのところ訂正箇所は以上です。他にも何か「気が済まん!」箇所があれば、しらさぎ会事務局までお声をおかけください。

しらさぎ会の伝言板

リーダー通信

受章 祝至全極

21・8・4市村金次郎名誉教授正四位瑞宝中綬章●21・11・2津野真千子さん生活9回藍綬褒章●21・11・3池川順子第十代高知女子大学学長女英1回瑞宝中綬章●22・4・29宇久真雄高知女子大学名誉教授瑞宝中綬章、教育研究功勞●22・4・29成田十次郎第十一代高知女子大学学長瑞宝中綬章、教育研究功勞

訃報 黙祷

■村田菊子先生(昭和47年3月退職)22・2・27
■宅見美佐子しらさぎ会会長(平成19年)22・4・16

活躍 拍手喝采

●健康栄養学科(09年3月卒) 神原静香さん(高知JFC、R

後列右端が神原さん



松崎沙和子高知女子大名誉教授(農学博士で医学博士でもある)が箱付き製本の『句集さくらんぼ』と題されて、近作472句を一室に2010年5月出版されました。

和紙草紙作品展
西条市 真木 美恵子
4.25日~5.30日
4.25日~5.30日

家政学部1回の真木美恵子さん作品展が上記日程で開催されました。大人気大盛況!



会場での真木さん

会則の改正

項を審議する。↓会議は、総会及び理事会の2種類とする。

繰り返しますが、いちばん大きいのは来年度からの代議員制の導入に伴う改正です。21年度の総会で提案し、会報にも同封。1年をかけて検討していただき、本年度の総会で承認された次第です。

他には矢印で示す通り、①顧問は現教員の中から2名を会長が委嘱し、任期は2カ年とする。↓本会に顧問2名をおく。特別会員の中から会長が委嘱する。②(役員任期)の中に会長の任期を決め、2期を限度とする。③会議は次のように定める。2役員会は必要に応じて次の事



仕事も趣味もガンバル松村美由紀さん(中央)と、左が次女、右が三女

キング19位。ちなみに松村美由紀さんは三姉妹の長女で、次女の南さん(高知大学卒)と三女の美郷さん(健康栄養学科3回生)は松村・松村組として高知県代表で国体に出場しました。

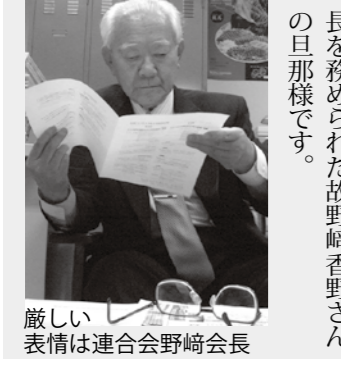
連絡先のお知らせです。
●事務局の連絡先 (Fax-mailは常時) ☎と Fax 088 (875) 7107
●事務局員の勤務は、木・金 10時~16時です。
しらさぎ会のホームページは、kochi-wu.ac.jp/~sirasagi/
しらさぎ会のe-mailは、sirasagi@cc.kochi-wu.ac.jp

会員数

しらさぎ会員は、平成22年4月現在総勢9千855名です。全国会員合計は7千496名となっております。2千356名の差は、国外在住者、住所不明者、故人などを表わします。

人事消息

教員の部(敬称略)



厳しい表情は連合会野崎会長

●退職(平成21・12・31)生活科学部助教倉有紀(平成22・3・31)文化学部教授水谷洋一、文化学部准教授長妻由里子、ジョン・エスポジト。看護学部助教原田千枝。
●採用(平成21・5・1)生活科学部助手沼田聡(平成21・6・1)生活科学部助教倉有紀(平成21・7・1)生活科学部講師廣内智(平成21・10・1)生活科学部教授和田安彦(平成22・4・1)文化学部准教授金澤俊吉、同講師ローレン・ウォーラー、同講師辻上奈美江、看護学部講師石川麻衣、同助教岩崎順子、同助教小澤若菜、同助教小原弘子、同助教坂元綾、同助教藤ひとみ、同助教関正節、社会福祉学部教授小坂田稔、同准教授黒田しづえ、同講師三好弥生、同助教國重智宏、健康栄養学部教授植田哲雄、同教授滝見幾代、同准教授荒牧礼子。

シリーズ 恩師はいま

鬼の首を取った気分(笑)で歩き出した!のだが...

文化学部 前学部長 水谷 洋一

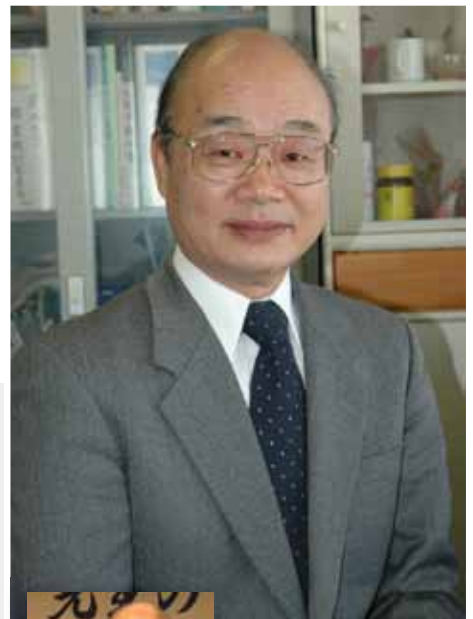
英語との遭遇は、中学1年生だった。This is a pen. が最初の英語だった。Do you like fish? という疑問文を Like you fish? と書いて直された。しかし、疑問文の Do をどこから持ってくるのか、どうして Do なのか、理解できなかった。質問しても、満足のいく回答を得ることができなかった。関係代名詞の who, which を教えられ、最後に that はすべてに使えると言われた時には裏切られた思いがした。

日本語の文字は「か」一文字なのに、なぜローマ字では【KA】の2文字になるのか不思議でならなかった。もっと細かく書けるのではないかと感じたが、その疑問は誰にも話さなかった。

これらの疑問は、大学で英語学に出あってから、まるで氷が溶けるように解決して行った。「そうだったのか」という思いを強くした。

大学では、ケルナーの「英語史」に出あった。古英語や中英語の謎解きのような面白さを覚え、友人たちの読めない古い英語が読めることに密かな優越感を覚えていたと思う。フランツというドイツの英語学者は『シェイクスピアの英語』の中で、使役動詞の make には to の付く不定詞が続くと述べている。しかし、調べてみると、原形不定詞の方が通常の用法であった。偉大な英語学者の間違いを大学生が見つけたのだから、まるで鬼の首を取ったかのような気分であった。

こうして、英語学の領域に足を踏み入れて行った。しかし、一つの疑問を解決するのに、半世紀も1世紀も、



▲永国寺キャンパス4階の研究室での水谷洋一文化学部長

◀2010年2月11日、池川順子先生の瑞宝中綬章受章を祝う会で、主催者代表の挨拶に立たれた際の水谷洋一文化学部長

略歴／奈良教育大学英語科卒、神戸市外国語大学修士(英語学)修了、賢明女子短期大学に着任、平成10年高知女子大学に赴任。英語史、英文法論、英米文化論などを担当。平成14年より、4期8年間文化学部長、平成22年定年退職

それ以上かかっている。たとえば助動詞 Do の前身とも言うべき助動詞 Gan を追いかけたこともあった。フンケが1922年に Gan は「強調の機能」を持っていると言い出したのが切っ掛けで、様々な説が唱えられた。解決を見ないままに、1986年にはブリントンが Gan は談話標識であると主張した。その証明の仕方が稚拙だから、私も別の証明を試みた。それがどれほどの意味を持つのか、大いに疑問である。そして、90年以上になるのに、未だに完全な解決には至っていない。

それでも、私の学生時代と比べてみると、英語史の分野も解明されたことも多い。何よりも研究方法が随分洗練されてきた。続けることが大事だと教えられたのも学生時代であった。

集記 ちよつとだけ、拡・大・版
編集後記 故宅見會長との約束の「質問」
 ■平成22年2月23日に開かれた学長諮問会議における学長への質問のために、宅見美佐子学長は項目を抜き出し、整理されていました。療養中ではあっても宅見会長は常に女子大の現状を気にかけておられました。諮問会議当日は時間的な制約で用意した質問ができませんでした。宅見会長とは「ご質問項目を本年度の会報用原稿とする」との約束を交わしておりました。
 そこで、山根洋右学長に「箇条書きの答え」をお願いしましたが、「法人化でテナヤワンヤのため寄稿は難しい」とのことでした。ただ、(宅見会長からの質問項目については)、「すでに社会的説明は済んでおりまして、説明責任は果たしておりますし、新鮮さは有りません」とのお答えをお電話でいただいたことを申し添えておきます。宅見会長の用意しておられた「質問項目」については、9面に掲載しております。(広報担当/国文学科22回生 坂本美和)
女声合唱団「凜」を立ち上げました
 ■女声合唱団凜を2008年春に立ち上げ、今年で3年目を迎えます。高知女子大学合唱部のOGと高校時代の仲間を中心として構成しており、合唱祭やアンサンブルコンテスト・フェスティバルへの参加をはじめ、クリスマスには病院や社会福祉施設でミニコンサートを催すなど、幅広い活動に取り組んでいます。「凜」は私たちの目標そのもの、団員一人ひとりが大人の女性として、しなやかな精神と歌ごころを養い、たくさんの方々に愛され、親しまれる団に成長していきたいと思っています。歌で高知を元気にしたいあなた!私達と一緒に歌ってみませんか? **現役女子大生も大募集** 中です。(広報担当/社会福祉学科1期生 塩見安代)
皆さま、季節外れ!にご用心を...
 ■病院勤務が3年経ちました。就職してすぐ季節外れのインフルエンザに、人生で初めて罹ったことを思い出します。現在、マイコプラズマ感染症に罹ってしまい、咳と鼻水が止まりません。これも初めてです。日頃から意識して、うがいや手洗いを欠かさないと流行の病気に罹ってしまいました。一人暮らしのため不便なことは母親に助けしてもらい、甘えてばかり…。石の上にも3年、初心を忘れず感謝を大事に頑張りたいと思っています。(広報担当/社会福祉6期生 上村絵理菜)